



牡幼だより

第9号

【ホームページ】 <http://www.botanyama-k.city-niigata.ed.jp>



～23個の柿を収穫～



心の根っこ
～ちょっと好き～

年長児3人とはいえ、友達関係は複雑です。

Aさんが友達に「Aちゃんのことにはちょっと好き。」と言われたことで、自分のことは嫌いなんだと受け止めてしまい、おうちの方にその気持ちを伝えていたそうです。

担任は、子どもたちに聞いてみました。

～一部抜粋～

担任：「友達のことを『大好き。』とか『ちょっと好き。』とかお話したことある。」

Bさん：「うん。Cちゃんのことには『大好きって言ったよ。Aちゃんのことにはちょっと好き。』って言ったよ。」

担任：「そう。なんでCちゃんのことには大好きなの。」

Bさん：「いっぱい笑わせたかったの。」

担任：「笑わせたかったんだ。じゃあ、Aちゃんのことにはなんでちょっとしか好きじゃないの。」

Bさん：「Aちゃんも同じくらい好きだけど。」

担任：「そうなんだ。そうしたらBちゃんがもし友達に『ちょっと好き。』って言われたらどう思う。」

Bさん：「う～ん、ちょっと悲しいかな」

Aさんは、BさんにもCさんにもいつでも優しくしてくれます。AさんとCさんは女の子同士で自然と一緒に遊ぶことが多かったのです。そんなCさんが、近頃Bさんの遊びに関心をもって、よく笑ってくれるようになりました。Bさんは、そんなCさんの反応が嬉しくて「もっとCさんを笑わせたい。」という思いだったようです。その気持ちが「Cちゃんは大好き。」「Aちゃんにはちょっと好き。」という表現になったと思われます。

子どもの背景にある思いや考えを理解すると、子どもの心は本当に繊細ですね。今回の出来事は、思いの行き違いや気持ちの表し方によって、心を痛める場面が起きてしまいましたが、共通するのは互いに友達が「大好き」ということです。自他の区別が付き、相手の気持ちも察して行動するようになってくる年長児だからこそ、互いに気持ちの在り様に気付き自分ごととして考えたり、自分の感じた気持ちを立て直していくプロセスを大切にしたいところです。Aさんのように心のモヤモヤを伝えられる親子関係はとても大切です。それをサポートする幼稚園として、保護者の願いも担任の願いも交わしながら、子育てを応援していきたいと思っています。

明日は、子どもたちが楽しみにしている生活発表会です。互いを思い合いながら協力し、心も体も成長している子どもたちへたくさん拍手をお願いします。



収穫したサツマイモでやきいも大会！

焼きいもをするために、子どもたちは園庭の落ち葉掃きを楽しみました。敷き詰められた赤や黄色の落ち葉の上を歩くとフワッとしてなんともいえない感触なのです。

当日は、裏庭に大きな穴を掘りました。それから、サツマイモを洗い、新聞紙でくるんで水に浸しました。その後、アルミ箔でまいて焼きいもの準備は完了です。用務員の剣さんが火をおこしてくれたところに準備していたサツマイモを入れました。

焼き上がったサツマイモは、湯気が立ってホックホクです。おうちの方も招待をして、みんなで「秋」を味わいました。



6歳の誕生日、おめでとう♡

11月生まれの誕生日会を開きました。誕生日児は「あと〇日寝たら私の誕生日の日。」と楽しみにしていました。お祝いをする2人は、誕生日児には秘密でプレゼントを作っていました。誕生日児のおうちの人が準備してくれた「成長の記録」を見ながら次々に質問が出てきます。友達を祝う誕生日会は子どもたちが企画して実現できるように支えています。心のこもった誕生日会になりました。



秋を探しに、東スポ周辺へ散歩。紅葉のトンネルがきれいでした。



新潟県立幼稚園にて、サッカーボールを使って楽しい質問タイム。



市之瀬幼稚園では、「しかけのある遊び」に「なあるほど！」



すこやかタイム(健康)、自分の歯のことにについて考えました。



新津第一幼稚園で4園合同交流会。マジックショーにびっくり。



すこやかタイム(食育)。今回は炭水化物について学びました。



修了生のお姉さんが遊びに来てくれました。歌のプレゼントをしました。



4年ぶりの牡丹山小学校の児童会祭りに参加してきました。面白かったね！